

## 基本目標5 生物多様性の保全



### ① 自然環境の保全と創出

生物多様性を保全するために、様々な自然環境を保護する必要があります。水辺については、市民が自然とふれあう場を創出し、多種多様な生物種の保全に努めます。都市の緑については、まちなかの環境を高める緑を増やし、公園緑地などの緑の質を改善し、高めていくことに取り組みます。森林や農地については、気候変動の緩和や健全な水循環の確保などの多面的な機能を維持できるように保全に努めます。

### ② 自然との共生

自然環境に関するデータの収集や小牧山など自然とふれあう場と機会の充実に努め、環境保全への関心を深めるとともに、生物多様性の保全への理解を促進します。

環境テーマ	指標	基準値 平成30年度	目指す 方向	進捗状況			達成
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
① 自然環境の保全と創出	市民一人あたりの都市公園面積	7.5 m <sup>2</sup> /人	↗	7.6 m <sup>2</sup> /人	7.7 m <sup>2</sup> /人	7.7 m <sup>2</sup> /人	
	緑被面積	2,759.9 ha	↗	2,704.3 ha	2,704.3 ha	2,704.3 ha	
	市民菜園の利用者数	153 人	↗	173 人	175 人	198 人	
	耕作放棄地の面積	62 ha	↘	59 ha	65 ha	65 ha	
② 自然との共生	自然環境学習(水生生物調査など)の実施校数	10 校	↗	6 校	7 校	13 校	

## 風致の優れた地域の保全

## ①自然環境の保全と創出

### 【 施策説明 】

東部に点在するため池などについて、自然や生態系に配慮しつつ、水辺を活かした空間整備を進める。また風致の優れた環境を活かした地域を保全し、市民が自然風景に親しむ場として提供する。

#### ●取組・実績

- ・太良まめなしの里を整備した。
- ・マメナシの花の観察会を3/30に開催し、76人が参加した。



(マメナシと太良上池)

## 水生生物調査

## ②自然との共生

### 【 施策説明 】

市内小学生による水生生物調査及び勉強会を実施し、生活排水の問題や河川生物の生息環境について、学ぶ機会を提供する。

#### ●取組・実績

市内3校で水生生物調査を実施し、児童271人が参加した(米野小学校(7/14、116人)、小牧原小学校(10/19、105人)、大城小学校(10/26、50人))。

市内4校で勉強会を実施し、児童280人が参加した(光ヶ丘小学校(6/29、55人)、米野小学校(7/4、127人)、篠岡小学校(7/12、46人)、大城小学校(10/3、52人))。



(水生生物調査の様子)

## 「小牧の巨木」の作成

## ②自然との共生

### 【 施策説明 】

市内の巨木について調査を行い、実態を把握して、冊子として取りまとめる。

#### ●取組・実績

令和6年3月に「小牧の巨木」を作成し、各市民センター等の市内公共施設に配布するとともに、HPにも掲載して啓発を行った。



(小牧の巨木)

## その他の取組

テーマ	事業	内容
①自然環境の保全と創出	緑化に関する補助制度の活用促進	民有地の緑化を進めるため、生垣設置、屋上緑化、空地緑化などを奨励し、補助制度の利用を推進する。 ▶ HPやリーフレット等により周知した。 ▶ 民有地の緑化事業に対して補助金を交付した(1件補助金交付)。
	緑化推進協議会の充実	緑化運動を促進し、緑化意識の高揚を図る。 ▶ 年2回(6月、11月)花いっぱい運動を実施した。 ▶ 年2回(10月、3月)出生記念樹の配布を実施した。
	身近な公園緑地の整備	公園の計画的な整備と適正な管理を進める。 ▶ 公園3箇所(天王塚、多気中央、本田会館北)を整備 児童遊園2箇所(御屋敷、横内)を改修した。

テーマ	事業	内容
① 自然環境の保全と創出	優良農用地の保全	新たな農業の担い手を確保し、優良農用地の維持保全を進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ HPに認定農業者制度の内容を掲載し、PRを実施した。</li> <li>▶ 新規就農希望者に対し、関係機関と連携し、就農支援を行った。</li> </ul>
	遊休農地、耕作放棄地の防止・解消	農地として保全するための現況調査等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 農業委員会の農地パトロール調査により、遊休農地の早期発見、現状把握を行った（令和5年8月～10月）。</li> </ul>
	市民菜園事業、農業体験事業による農業とのふれあい	市民に農業へ関心を持ってもらえるよう、農業とのふれあいの場を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市民菜園を開設し、農作業の場を提供した。</li> <li>▶ 農業体験講座を開催した（20名受講）。</li> </ul>
	農業祭の開催	生産者と消費者のふれあい、地元農産物の紹介とともに、農業に対する関心と理解を深めることを目的として農業祭を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 小牧市市民会館・公民館で開催した（11/18、19）。</li> <li>▶ 農産物の品評会及び即売会を3回開催した（7月、8月、11月）。</li> </ul>
	外来種の駆除	外来種の駆除を実施し、農作物の被害の減少や外来種問題に関する啓発を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の駆除を実施した(シルバー人材センター委託)。</li> <li>▶ ヌートリア、アライグマ等の捕獲、駆除を実施した(猟友会)。</li> <li>▶ 市民からの依頼により、捕獲檻を設置した。</li> <li>▶ オオキンケイギクの駆除を市内1中学校と3回、事業所と1回協働で実施した(自然環境観察人)。</li> </ul>
② 自然との共生	兒の森の活用促進	自然環境保護に関する啓蒙を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 兒の森里山自然体験を実施した（全6回、31人受講）（再掲）。</li> <li>▶ 兒の森クイズラリーを実施した（10/1、4人受講）（再掲）。</li> <li>▶ 森を保全するための整備活動を実施した。</li> <li>▶ 毎月1回自然環境観察人による定期観察会を実施した（148人参加(うち一般参加者47人)）。</li> </ul>
	自然観察学習	児童クラブにおいて身近な動植物の観察会を実施し、小学生のうちから自然に興味を持ってもらい、環境保全に対する意識の醸成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市内8校の児童クラブで実施した（味岡 7/26 19人、村中 7/28 21人、小牧南 8/7 33人、光ヶ丘 8/23 45人、陶 12/26 16人、小牧原 12/26 24人、一色 3/25 15人、桃ヶ丘 3/26 47人参加）。</li> </ul>

## 評価

市民菜園の利用者数や自然環境学習の実施校数は増加しており、引き続き自然とふれあう場と機会の充実に努め、生物多様性の大切さを広く周知する必要がある。

また、緑や水辺の保全は生き物が生育・生息する環境の保全だけでなく、都市環境や生活環境の維持、水循環の確保にもつながることから、さらなる生育・生息場所の整備・保全の強化が必要である。